

# Mobirta Pitch Deck

モビリティの管理を、スマートに。

PROBLEM

課題

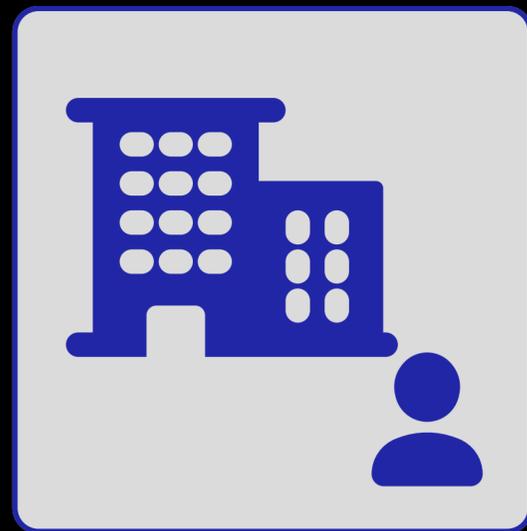
企業で使用される社用車のタイヤ



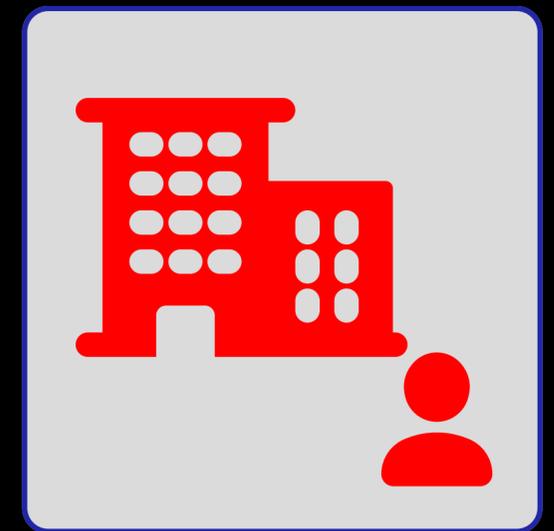
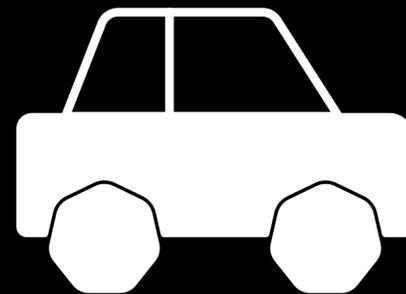
## PROBLEM

# 社用車の使われ方

メンテナンス付リースの利用が増えている。  
点検や消耗品の交換はリース会社が行い、日常点検は利用者を実施



利用者



リース会社

## PROBLEM

# リース社用車のタイヤ管理

- 一般社員が社用車を予約して利用する際、タイヤの空気圧チェックを行うことは少ない。70%が点検せず利用（独自アンケート結果）
- 半年ごとの点検時に確認されることが多いが、それでは間隔が長すぎる



## PROBLEM

# タイヤ空気圧を管理していないと...

本来、防げるはずの損失が発生



### 【安全】

パンク故障リスクが3倍になる (米国NHTSA調査結果)

### 【環境】

タイヤの寿命が20%低下 (ミシュラン Webサイト)  
燃費が10%悪化 (JAF Webサイト)

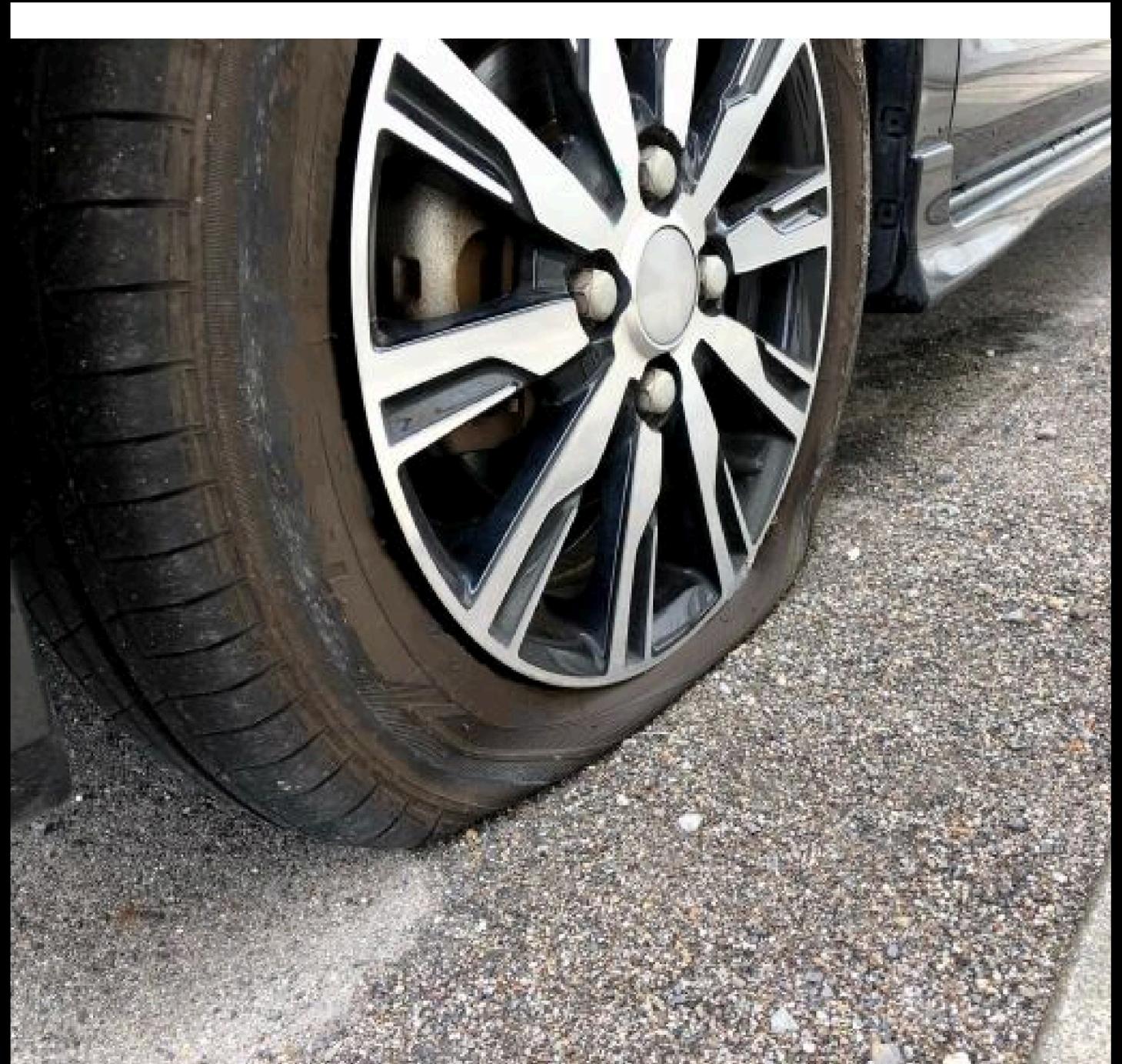
## PROBLEM

# タイヤ故障の多さ

車両故障原因の第1位はタイヤ破損 (JAF調査結果)

25%のドライバーがパンク経験者  
4.1%が直近1年以内にパンクを経験 (JTAMA調査結果)

パンクは、空気圧不足が主要因  
一般道58%、高速道路35%の乗用車が  
空気圧が不足した状態で走行している (JTAMA調査結果)

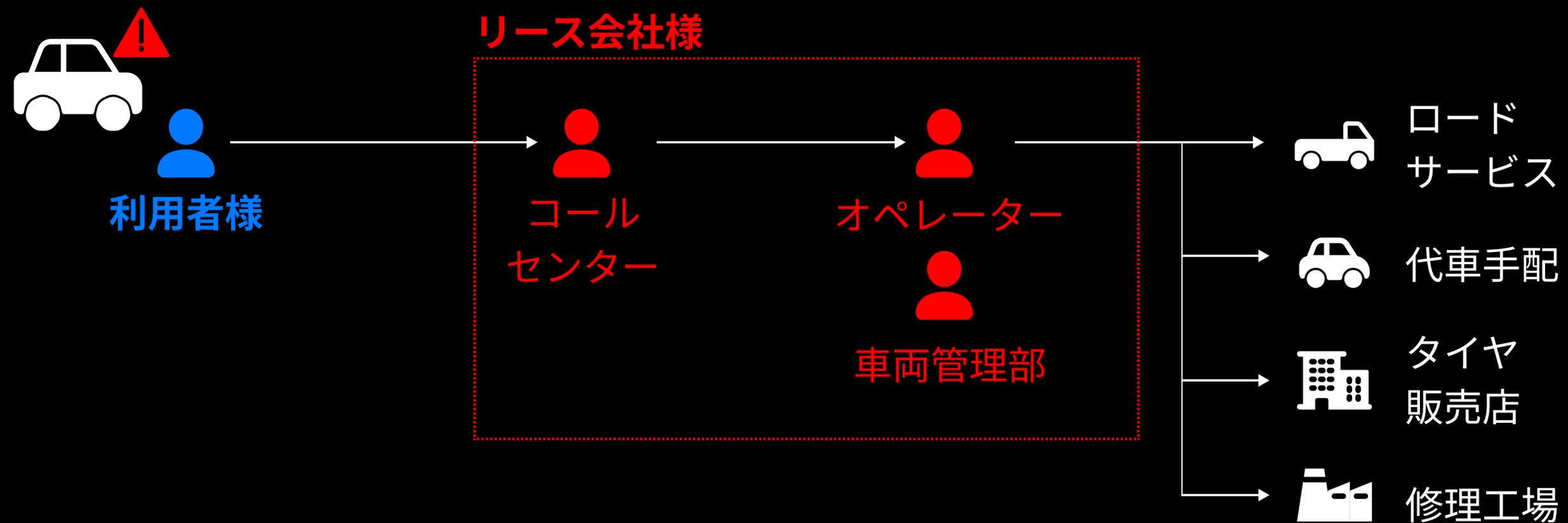


## PROBLEM

# タイヤ故障が発生すると...

パンクが起きてしまうと、利用者・リース会社共に緊急対応が必要。

リース会社が対応に追われるだけでなく、利用者にとっても機会損失が発生してしまう



A black and white photograph of a man in a light-colored work jacket kneeling next to a car, using a tool to work on the wheel. The man is looking down at his work with a focused expression. The background is blurred, showing an outdoor setting.

なぜやらない・・・？

## PROBLEM

# ドライバーがタイヤ空気圧管理を行わない理由

(JATMAアンケート結果)

**1位：チェックする方法が分からない (47.2%)**

**2位：面倒 (36.9%)**

## PROBLEM

# ドライバーがタイヤ空気圧管理を行わない理由

クルマへの知識、興味関心がない人は実施したことがないのが実態。  
毎回異なる社有車を使用する場合は、空気圧チェックのタイミングが分かりづらい。

1. 空気圧チェック・補充のタイミングを把握する
2. ガソリンスタンドでエアタンクを借りる。
3. 自車のタイヤ指定空気圧をチェックする（ドアの裏に書いてあることが多い）
4. ホイールのバルブキャップを外す
5. ホースをつなぎ、ボタンを操作して指定空気圧まで空気を補充する
6. バルブキャップを閉める
7. エアタンクを返却する



PRODUCT

# AIによるタイヤ管理サービス

**タイヤの日常管理を、誰でもいつでもできる作業に変える**

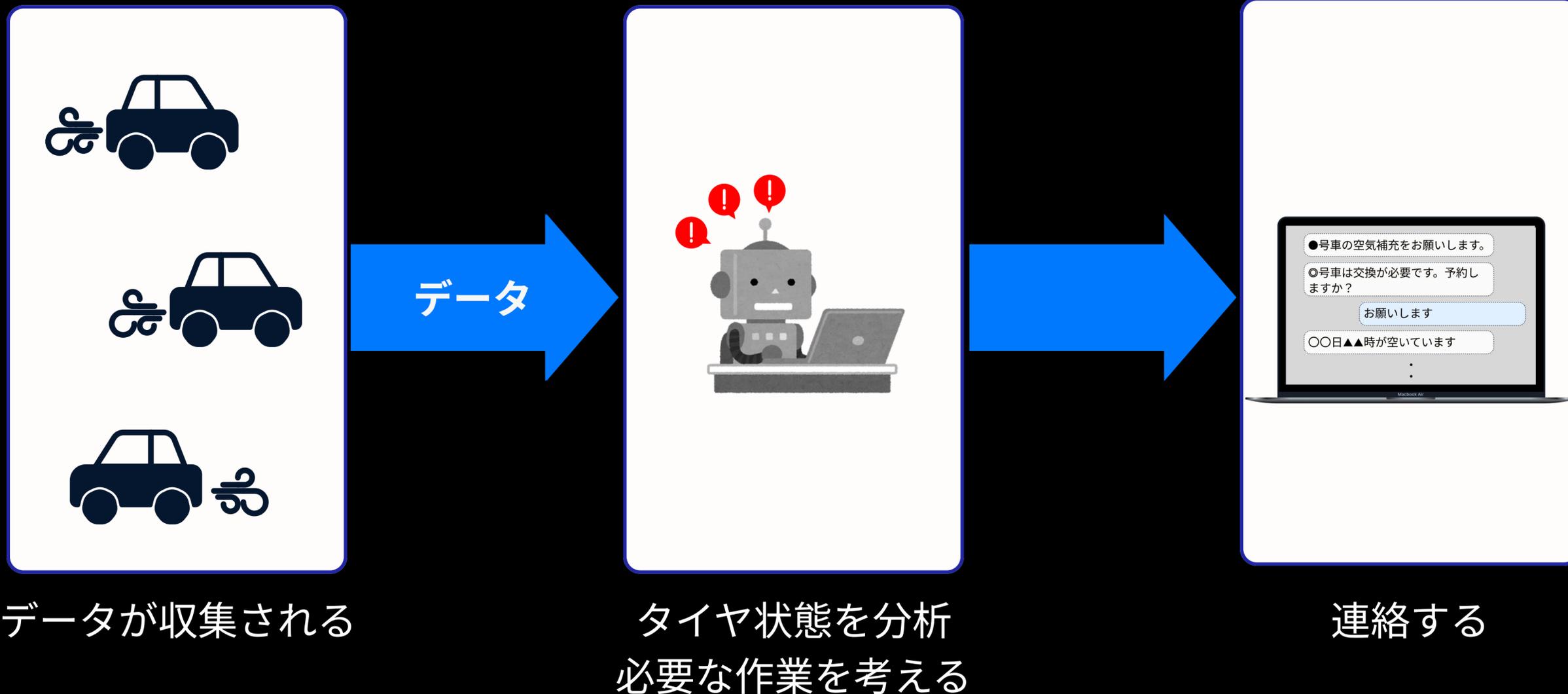
必要なハードウェア：センサ（ホイールのバルブキャップに取付）、USBデバイス、ポンプ



## PRODUCT

# タイヤ管理AIエージェント

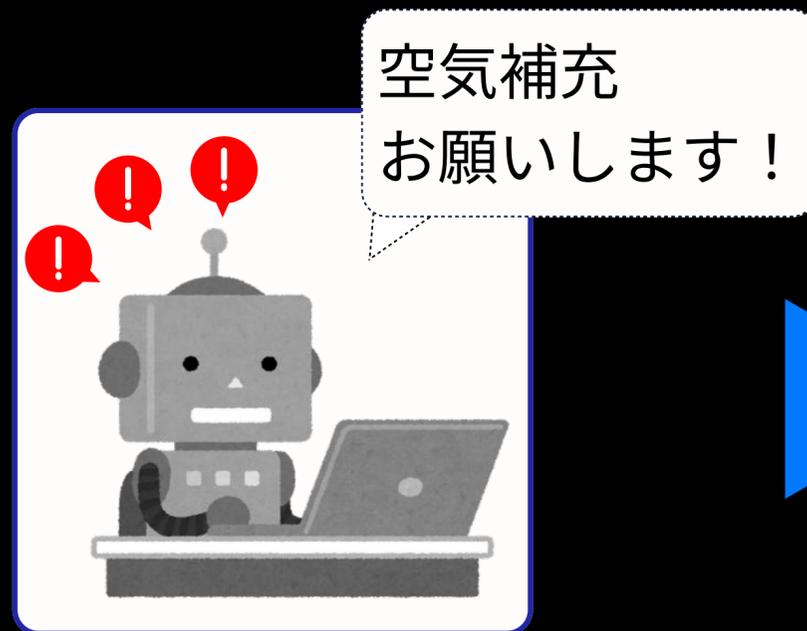
センサとUSBデバイスが、タイヤ状態に関するデータを収集  
AIがデータを分析。必要な作業を判断し連絡



## PRODUCT

# 管理作業の簡素化

クルマ毎の指定空気圧に達すると自動停止するようスマートポンプがプログラミングされる  
ホースを繋ぎボタン押すだけで指定空気圧まで空気が補充される

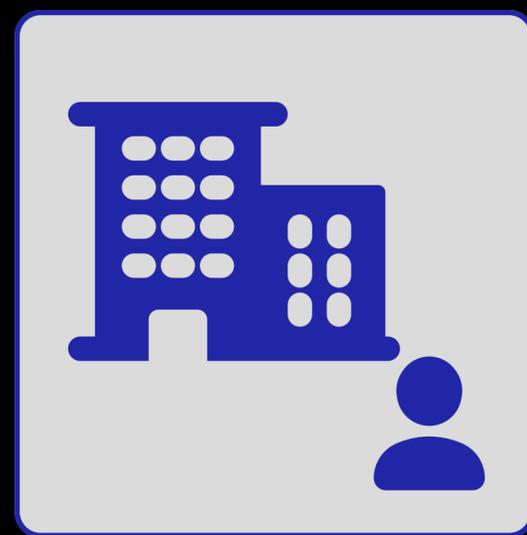


お使いのクルマの  
指定空気圧に設定

ホースを繋ぎ  
ボタンを押す

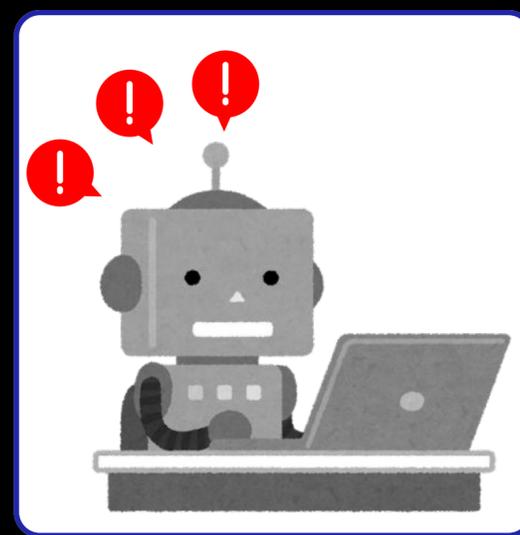
# 導入メリット

最も故障頻度が多いタイヤに関する対応コストがほぼゼロになる（オペレーション省人化）  
車両のランニングコストが低下する（タイヤ寿命と燃費の向上）  
お客様に対し、故障を未然に防ぐ新たな安全サービスとして提案できる



利用者様

空気補充の  
お願い



交換時期の  
連絡



リース会社様

# リース利用者様の導入効果試算（例）

お客様にとってもメリットあり。コスト増にならない。

トヨタ プロボックス（ガソリン車）を5台ご利用の場合...

**タイヤ故障：-70%**

安心して利用できるようになる

**コスト：-150000円/年**

タイヤ寿命向上、燃料使用量削減による  
コスト削減効果

**CO2：-1800kg-CO2/年**

タイヤ生産時、燃料使用時に発生するCO2  
排出量を削減できる

<計算条件>

年間走行距離：20000km、タイヤ寿命：40000km、ガソリン代：180円/L

FUTURE

## 将来構想（開発中...）

タイヤの日常管理作業を自動化し、  
人の作業をゼロにする。  
（空気補充、外観チェック）





---

**Mobirta**

---